

流行ものから

見えるもの

『ピッタリ五秒』に一喜一憂

— 今なぜか時間当てゲームが人気 —

近ごろ、ゲームの世界に奇妙な人気者が登場して話題を呼んでいる。それが「ストップウォッチ・ゲーム」という遊びなのだ。

流行の先駆けは、〇七年末ごろからネット上に登場した「脳トレ」ストップウォッチ。競技者たちは画面に示された目標の秒数に従って時計盤を操作し、誤差の少ないほうが勝ち、という仕組みだ。それを進化させたのが、自分の勘だけを頼りに「ピッタリ五秒」

を当てるという、バンダイの「五秒スタジアム」(希小売価格九百九十八円)なる商品。〇八年夏の発売とともに口コミなどで人気を呼び、年内に五十五万個の販売を見込むヒット商品となった。

こうしたブームを受けて、自社のホームページに同様のゲームを張り付けたり、社員の技能研修に取り入れる企業も登場してきたと聞く。「たかが数秒間」のために大の大人が一喜一憂す

る姿は、どこかユーモラス。しかし、いざ自分が遊ぶと、なぜかハマってしまう不思議なゲームたちでもある。

さて、このピッタリ時間当てゲームのヒットの陰にも三つの深層心理が垣間見られる。

第一は、自分の「脳や勘を磨きたい」との欲求である。文明の利器に支えられた現代社会では、どうしても人間の脳の機能や、動物本来の勘が鈍ってしまう。この種のソフトはその絶好のトレーニング・マシンということだ。

第二は、忙しい現代人にも「簡単に、楽にできる」ことだ。脳トレをしたくても長時間はムリだし面倒。たった五秒などは、まさに格好の素材である。そして第三は、「寸分の狂

いもない完璧な仕上がりに」へのあこがれである。そう言えば、かつて一世を風靡(ふうび)した「電車でGO!」も、決められた時間で正しい位置にピッタリと電車を止める遊びだった。

いや、考えてみれば、今日の日本の発展は精密機械や工芸品などを筆頭とした正確・精巧・ち密なものづくりの術(すべ)に支えられてきたはずだ。これらの「ピッタリへの挑戦」人気の底流には、そんな先達たちの情熱を引き継ぎたい、との思いが秘められているのかも？

だとすれば、よくちまたで不安視される「ものづくり大國日本の未来」は、まだまだ安心してよさそう

NML野村オフィス

代表 野村 正樹

会議所10月の動き

- 1日(水)・第36回2級販売士検定試験
・新発田エネルギー懇談会「幹事会」
- 3日(金)・キャリアアップセミナー
- 5日(日)・新発田葛城ライオンズクラブ創立40周年記念式典
- 7日(火)・経営指導員研修会
・青色申告担当職員研修会
- 8日(水)・経営指導員研修会
・経理担当職員研修会(～10日)
- 9日(木)・原しばたショッピングセンター店舗運営管理協議会
- 10日(金)・地域力連携拠点支援機関・パートナー機関連絡会議
- 11日(土)・ふるさとしばた食と職のおまつり(～13日)
- 13日(月)・防衛講演会
・第32回新発田市民ゴルフ大会
- 14日(火)・平成20年度県内商工会議所補助員等研修会(～15日)
・第1回「新規就業者支援新潟協議会」
- 16日(木)・なじもトレマップ作成実行委員会
・副谷谷虹児記念事業団 理事会
- 17日(金)・第4回「食のアスバラ横丁、味めぐり」開催実行委員会幹事会
・新発田地区モンゴル親善協会 平成20年度定期総会
- 18日(土)・新発田きらやか会平賀会
- 19日(日)・第11回「花嫁人形」合唱コンクール懇談会
- 20日(月)・建設総合部会役員会
・第1回新発田市健康づくり推進協議会
・税務団体協議会役員会
- 21日(火)・北陸信越ブロック商工会議所 相談所長会議(～22日)
- 23日(木)・新潟県商工会議所連合会第3回運営委員会
- 24日(金)・副谷虹児事業団評議員会
- 25日(土)・阿賀北青年ネットワーク創立20周年記念式典
- 26日(日)・第184回球技検定試験
- 27日(月)・第5回「食のアスバラ横丁、味めぐり」開催実行委員会
- 28日(火)・第3回小規模企業振興委員連絡会議
- 30日(木)・(社)福二王子会 法人役員研修(～31日)
- 31日(金)・08 いいがた就労支援セミナー